

すすきみみずくの地産地消

南池袋みどり公園

南池袋みどり公園では、NPO法人雑司が谷ひろばくらぶによって少しづつ再整備が行われています。暗い公園を明るくするために草刈りや木の枝払いを行い、近所の保育園の皆さんにご協力いただいて花壇の整備をしています。また、園内のざくろの収穫祭も行いました。

夏に草刈りを行ったおかげで、秋になり、もともと生えていたすすきが元気に穂を出しました。そこで、すすきみみずく保存会の皆さんに声をかけ、すすきの穂の刈り取りをしてもらいました。

すすきみみずく保存会では、すすきみみずくに使うすすきの穂を、毎年秩父まで採りに行ってます。今年は、地元で採れたすすきの穂で、すすきみみずくをつくることができます。ささやかな地産地消が実現します。



すすきみみずく保存会による作り方教室
(南池袋小)



穂を出したすすき

刈り取ったすすき



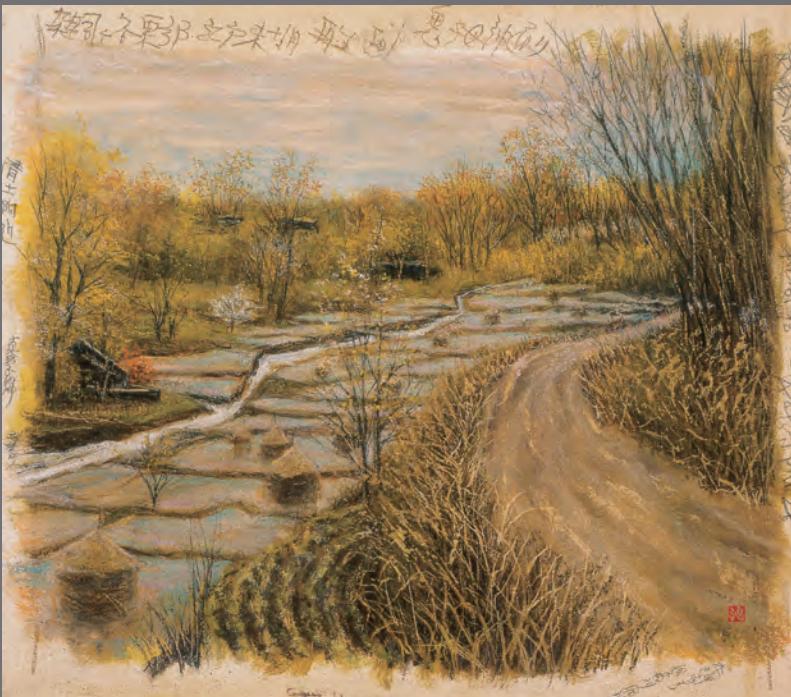
ざくろ収穫祭

すすきの刈り取り

花壇づくり

連載

雑司が谷の風景「すすきの風景」



小池俊夫画 「雑司ヶ谷東部江戸末期再生画 鬼子母神通り」
パステル 392×453mm

すすきみみずくを地元のすすきを使って作れるようになったとの知らせを聞いて、この絵を思い出しました。これは江戸時代末期の雑司が谷の風景を想像して書いたものです。絵の周辺の書き込みから、本浄寺付近の鬼子母神通りと弦巻川の風景を東から西に向かって書いたものでしょう。川沿いに田んぼがあり、道端にあるのはすすきのようです。おそらく弦巻川沿いは、秋にはすすきの穂が一面にゆれていたのではないでしょうか。

すすきみみずくは、病気の母を元気にしたいという子どもの願いに、鬼子母神が蝶に姿を変えて、その辺にたくさんあるすすきを使ってみみずくを作るよう薦めたものだそうです。そんな伝説に思いをはせて描いたのかもしれません。

(小池陸子)

まちづくりニュース
2023・3
通算90号

ぞうしがや
<http://zoshigaya.org>

●企画／発行
雑司が谷・南池袋
まちづくりの会
●事務局・連絡先
豊島区地域まちづくり課
事業第1グループ
03-3981-0489

環状第5の1号線の今

東京都建設局が、11月に「環5の1(雑司が谷)工事だより Vol. 1」を公表しました。各工区の工事の進捗状況や問い合わせ先等が記載されており、第四建設事務所のHPや沿道の掲示板で確認することができます。

今後は、新たな工事に着手するタイミングなどで公表があるとのことです。

1工区

立坑築造工事の着手に向けて準備工事を行っています。併せて、電気・電話線等のライフラインの移設工事を埋設企業者が行っています。



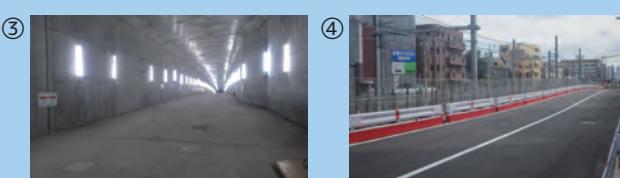
3工区

地下道路のトンネル躯体が完成しました。今後、地上部で電線共同溝設置工事を実施予定です。



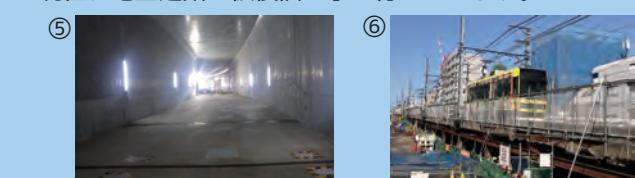
2工区 雜司が谷工区

地下道路のトンネル躯体が完成しました。今後、地上部で都電の軌道復旧工事等を実施予定です。



2工区 南池袋工区

地下道路のトンネル躯体が完成しました。現在、地上道路の仮復旧工事を行っています。



不燃化特区の助成制度

豊島区が雑司が谷・南池袋地区などで行っている「不燃化特区制度」では、建築物の不燃化を促進するために、次の助成・制度等があります。

- 老朽建築物除却助成…老朽建築物の「解体・整地費用」の一部を助成
- 戸建建替え促進助成…建替えに係る費用(除却費、建築設計費及び工事監理費)の一部を助成
- 固定資産税・都市計画税の減免…最長5年間の税制優遇
- 専門家派遣制度…区が無料で専門家を派遣

※これらの助成・制度等を利用するには、それぞれに要件があります。

※詳しくは豊島区都市整備部地域まちづくり課にご相談をお願いします。

